

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 学校名 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	「自分を育てる」に対し、指標もマッチしていると思いました。特に通過率30%未満の生徒の割合10%以下をキープしてほしい。
目標達成のための方策の適切さ	A	特に県公立高校の試験でもあるように自己表現がこれから大切になってくると思うので、是非徹底してやってほしい。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	特に基本的な生活習慣の定着面が継続されていい結果となっているのが素晴らしい。
今後の改善策(案)の適切さ	A	適切と思います。実行完遂することが大切です。継続してほしい。
その他		「学校が常に目標とすべきは、若者が調和の取れた人格の持ち主としてそこを出すことです。専門家としてではなく。」アインシュタインが講演で語った言葉です。私は人格とは人間としての精神の格調だと考えています。その基本は「人の痛みがわかる」ということだと思います。その土台があれば、自他を大切にして主体的に生きてゆけるのではないのでしょうか。 このまま続けていけることに関して、続けていってもらえればいいと思います。継続するのは大変なことです。少しずついいと思います。 業務改善がAになっているので素晴らしいと思います。是非継続してほしいです。 学校の先生方はよく頑張っています。 よく授業の教材も工夫されていると思う。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以前の授業スタイルに段階的に戻していくことで生徒の思考力・表現力の向上を意識した授業を展開していく。 ・試験内容の見直しを図り、通過率30%未満の生徒を10%以下にできるよう、学習方法・内容等を各教科で考え、実践していく。 ・体力向上については、小中で課題を共有し、継続的な取組をしていく。 ・保護者との連携効果について検証するとともに、個別面談や生徒会活動での取組を強化し、共に生活を向上させようとする雰囲気醸成する。 ・引き続き、業務内容の精選と分散を図り、効率的に業務を遂行して生徒と関わる時間の創造に努める。
--------------------	--